

作物名:かき  
病虫害名:円星落葉病(病原:*Mycosphaerella nawae*)



写真 かきの発病葉

### 1 被害の特徴と診断のポイント

- 主に葉に発生する。
- 通常は9月上旬頃から発生するが、夏季後半頃から発生がみられる場合もある。
- 始め円形の小黑点が形成され、症状が進むと赤褐色や灰緑色の円形～不整形病斑を形成する。
- 多発時は、激しく早期落葉する。
- かきの落葉期は晩秋期であり、夏季後半～秋季前半に落葉する場合は、本病又は角斑落葉病による早期落葉の可能性が高い。

### 2 伝染源・伝染方法

- 本病原菌は、落葉した被害葉で越冬する。この被害葉から、5月頃から子のう胞子が風雨により飛散して感染する(一次感染)。
- 主な感染時期は5～7月で、数か月の潜伏期間を経て、9月上旬頃から発生する。
- 被害葉からは二次感染しない。

### 3 発病しやすい条件

- 本病害は落葉した被害葉からの感染であり、被害葉を放置すると翌年発生しやすくなる。

### 4 防除方法

- 春季までに、落葉を処分する。落葉は、ほ場内に放置しない。
- 5～7月に、本病に登録のある殺菌剤を散布する。
- 発病がみられる時期は感染が完了しており、殺菌剤散布は効果がない。
- 風通しの良い樹形に努め、薬液が樹冠全体に届くようにする。

### 5 出典

#### (1) 参考文献

- ひと目でわかる果樹の病虫害第二巻(改訂第二版)(日本植物防疫協会)
- インターネット版 防除ハンドブック 日本ナシの病虫害(全国農村教育協会)

#### (2) 写真

- 宮城県大河原農業改良普及センター撮影

(令和7年5月作成)